



# 大塚教育

令和6年度2月号  
文京区立大塚小学校  
校長 山下 智美  
3946-3421

## 考えをもち、伝え合う

研究主任 工藤 晴香

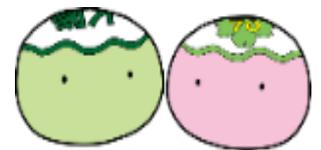
本などについている帯を思い出してください。帯に書かれていることを読んで、「読んでみたい!」と思った経験があるかと思います。帯は、タイトルからだけでは分からない魅力や、既に読んだ人が今から手に取る人への感想を伝える手段として使われています。私自身、帯を読んでいくつものすてきな本に出会うことができました。それは、きっと読者が帯を通じて「伝える」ということをしてくれたおかげだと思っています。帯は、日本特有の文化であり、本を読んで考える、それを周りへ伝えることの大切さを教えてくれると考えます。

今年度大塚小学校では、「自分の思いや考えを伝え合うことのできる児童の育成～読んで理解したことを自分の思いや考えにつなげることを目指して～」という研究主題の下、研究を進めてきました。昨年度は、物語文を読み、登場人物の心情や情景描写から「豊かに想像する力」を育んできました。それを受けて今年度は、さらに2つの力を児童に身に付けさせたいと考えました。①本文をよく読み、新しいことに気付いたり、自分なりの考えをもったりして読みを深める力、②自分の考えを書いたり相手に伝えたりするなど友達と共有する力です。そこで、次のような取組を行いました。

- ・学習計画やゴールを示すことで、見通しをもち、読んで感じたことや分かったことを自分の考えにつなげることができるようにする。(低学年)
- ・様々な表現方法に触れることで、自分に合った解決方法や表現方法を選べるようにする。(低学年)
- ・考えをもつポイントを示し、本文に立ち返るとともに、自分の体験や既習事項と結び付けて考えられるようにする。(中学年)
- ・友達の考えを理解できるように、共有するポイントを示したり、発達段階に合わせて発表のグループを構成したりする。(中学年)
- ・友達と共有した後に、もう一度考える時間を設けることで、考えが深まるようにする。(高学年)
- ・いくつかのグループで意図的に共有を行うことで、多様な考えに触れることができるようにする。(高学年)

考えをもつことも、伝え合うことも日常生活の中で非常に重要な力となってきます。大塚小学校の児童が、どんなときにも、自分の考えをもち周りへ伝えることのできるような人になっていくことを願って、教員一同研究を積み重ねていきたいと思っています。

## 2月の生活目標「 丈夫な体をつくろう 」



### <大塚の窓>

3年担任 宇佐美 南 関口 奈生人

2月となり、今年度もあと少しとなりました。3年生の子供たちはとても元気が良く、学習も休み時間も常に全力!どんなことにも前向きに取り組むことができます、すてきな子供たちです。4月に出会った頃よりも、周りの人のことを考えて行動することができるようになりました。中学年として立派に成長していると感じます。

先日、行われた「茶道教室」では、外部講師の先生から相手を敬う気持ちの大切さについて話がありました。子供たちは、真剣に話を聞くことができました。また、最後の質問タイムでは、たくさんの子供たちが手を挙げていました。自ら学ぼうという気持ちの表れを感じました。

3学期は「次の学年の0学期」だと考えています。各学級で3学期の始めに、自分がどんな4年生になりたいのか、改めて考える時間を設けました。子供たち一人一人が理想の自分に一歩でも近付けるように、担任として支えていきます。